

講座概要

韓国

孫 珠美 (ソン ジュミ) さん
『近い国・韓国』



講師は韓国・釜山出身。昔からの風習や文化を大切に韓国の人々の生活の様子を紹介します。辛い物ばかりではない、おいしい食べ物のお話、昔からの遊びやお正月の楽しい遊び、学校や韓国語についてもお話しします。
(伝統楽器チャンゴ・遊び・民族衣装紹介)
【小・中学生向け】

韓国

孫 珠美 (ソン ジュミ) さん
『故郷釜山の昔と今』



講師の出身地・釜山は人々の人情が厚いところ。何か問題が起きればご近所で解決します。ぶっきらぼうだけど温かい人々の生活を紹介します。釜山の見どころ、名物料理なども紹介し、まるで旅しているかのような気分になります。

【公民館向け】

韓国

梁 熙貞 (ヤン ヒージョン) さん
『隣の国・韓国はどんな国？』



韓国は「近くて、遠い国」と言われますが、言葉はとても似ています。食事のマナーは違うところも多く、たとえば、韓国では器を持って食べることはマナー違反です。講座では、日本と韓国の言葉、食文化、生活、似ているところや異なるところを紹介します。
(伝統楽器チャンゴ・遊び・民族衣装紹介)

中国

于 恒紅 (ウ コウコウ) さん
『素顔の中国』



講師は、姫路市の海外姉妹都市の一つである中国・太原市の出身です。中国の歴史・文化、学校生活や子どもの遊びの紹介と簡単な中国語のレッスンをします。
また、日本で生活して感じる、日中の文化・習慣の違いもお伝えします。

モンゴル

アサルト レンツェンホルロー
オウンゲレルさん
『大草原の国・モンゴル』



モンゴル国は東アジアの内陸国です。面積は日本より4倍も広く、国土の半分は草原です。講座では、草原で行われる伝統的な祭り、モンゴル相撲、文化、生活習慣、民族衣装、伝統楽器の馬頭琴、首都ウランバートルのことなどを紹介します。

インドネシア

山口 ニ ワヤン リンブンさん
『神々の宿る島
インドネシア・バリ島』



インドネシアは大小様々な島で成り立っています。故郷バリ島は「神々の島」とも呼ばれ、ヒンドゥー教に基づいた伝統的な文化が息づいています。毎日の暮らしに密着した宗教的な儀式や、結婚式、お正月などの伝統行事について紹介します。

カンボジア

山口 文代さん (日本語学校支援)
『カンボジアの子どもたち
～国際協力って何?～』



講師はカンボジアにある日本語学校の運営に携わってきました。その経験を元に、国際協力とはどういうことか、また井戸や文房具の寄付、地雷の問題や平和学習について小学5、6年生向けにわかりやすくお話しします。
【小学校高学年向け】

カンボジア

山口 文代さん (日本語学校支援)
『カンボジア最新レポート』



カンボジアの概要や日本との比較、歴史、文化、クメール語のあいさつなどを紹介します。現地の学校への寄付の様子、地雷博物館や地雷被害者の悲劇、児童労働に従事する子どもたちの姿を間近に見た経験から、国際協力や援助のあり方について考えます。

【中学生向け】

カンボジア

山口 文代さん (日本語学校支援)
『アンコールワットの魅力と
カンボジアの今』



アンコール遺跡に最も近い街シェムリアップにある日本語学校の運営に携わってきた経験を元に、遺跡の魅力と、内戦の悲劇から立ち直りつつあるカンボジアの現在の状況などを紹介します。旅に役立つクメール語も紹介します。
【公民館向け】

タイ

寺越 昭男さん (駐在員)
『美しき タイ王国』



講師が生まれて初めて飛行機に乗って赴任したのは、緑の森に包まれた美しいタイでした。駐在員の目で見たタイの企業の様子や、歴史、文化、生活風景、おいしいタイ料理などを紹介します。滞在年数10年以上の講師がタイ仏教と日本仏教との違いもお話しします。

講座概要

ベトナム

首藤 美香さん (JICA シニアボランティア)
『おおらかな国ベトナム』

講師は、コロナウイルス感染拡大のため令和2年3月に帰国するまで、JICA シニアボランティアとして、ベトナムのダナン外国語大学で日本語教育に携わっていました。おおらかな人の多いベトナムについて、習慣や文化、考え方などの観点から実例をあげながらお話しします。



スリランカ

ブディカ ウィーラシンハさん
『光りかがやく島・スリランカ』

講師は、フォトジャーナリストとして長くスリランカ国内の紛争取材してきました。日本ではあまり知られていない歴史と現状、シーギリヤ・ロックをはじめとする多くの歴史的な遺産、伝統文化、食べ物などについて、講師自身が撮影した数多くの写真をまじえてお話しします。



サモア

鈴木 俊章さん (JICA シニアボランティア)
『楽園サモアの快適生活』

サモアは太平洋の真珠と呼ばれる美しい島国です。経済的には開発途上国ですが、豊かな自然と温暖な気候に恵まれ、また家族の絆も強く、平和で治安のよい国です。幸せ度No.1のこの国の、衣食住の工夫や自然と調和したライフスタイルを知り、私たちが心豊かに生きていくヒントを学びます。



バヌアツ

仲 誠一さん (JICA シニアボランティア)
『バヌアツの子はなぜ世界一幸せなんだろう？』



インフラが未整備な島国バヌアツは、英国のシンクタンクから世界一幸せな国に選ばれました。子どもたちの生活、習慣、遊びの紹介を通じて「物の豊かさでない『本当の幸せは何か』」を考えます。民族衣装に触れ、バヌアツの留学生と交流することもできます。

アフガニスタン

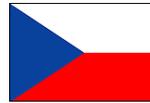
春木 信韻さん (アフガニスタン支援 10年)
『アフガニスタンを知って、そして忘れないで！』



アフガニスタンでは長年にわたる戦争で地雷が使われ、多くの人が手足を失う被害にあっています。講師は10年にわたり、日本で不要となった義足をリサイクルして現地に届けてきました。その活動や交流の様子、現地の人々が抱く夢や希望についてお話しします。

チェコ

黒田 健二さん (駐在員)
『ハート・オブ・ヨーロッパ チェコ』



ヨーロッパのほぼ中央に位置するチェコ共和国。中世の街並みや建物が、今なお多く残っています。有名な音楽家や芸術家も輩出し、観光で一度は訪れたい国として知られています。波乱万丈の歴史などと重ねあわせて、ガイドブックには載っていないような内容を紹介します。

フランス

白井 智子さん (フランス 6年以上)
『魅惑の国 フランス』



講師は、長年、フランスの大学で勉強や研究をし、日本語教育に携わった経験もあります。フランスはなぜ世界中の人々を惹きつけるのか？フランスの言葉や地理、芸術、食文化、スポーツ、祝祭・伝統行事、世界遺産などの紹介を通して、フランス文化の魅力や多様性、日本との違いについてお話しします。

スペイン

赤鏑 千春さん
『カミーノ・デ・サンティアゴ～歩いてみませんか、世界で一番幸せな道“スペイン巡礼路～』



スペイン巡礼路には世界中から多くの人々が何かを求めてやってきます。異なるバックグラウンドを持った人々が同じ場所を目指す巡礼者として歩くとき、そこには文化や言葉を越えた助け合いや協力が生まれます。ぜひ、皆さん人生で一度この巡礼路を歩いてみませんか？

講座概要

北欧

山口 文代さん
『雄大な北欧、その魅力』



スウェーデンの一番南部に位置するスコーネ地方は『ニルスの不思議な旅』の舞台で、見事な市松模様の牧草地帯が広がります。四季折々に訪問した際に目にした街の様子、遺跡や食べ物などを美しい写真と共に紹介します。デンマーク・コペンハーゲンの魅力についても紹介します。 【公民館向け】

アメリカ

黒川 衣代さん
『多様性と違いの尊重 アメリカ』



何でも大きいイメージのアメリカ。面積も大きいため、多様な自然の中、多様な人々が、お互いの違いを尊重し共存しています。講師はホームステイと学生生活を通してアメリカを見てきました。アメリカの家族・食生活・教育などについてお話しします。また生活英語についても紹介します。

メキシコ

アサ アドボト ゴンザレス デ 黒川さん
『陽気な国・メキシコ』



メキシコには、砂漠やジャングル、高山地方など全く異なる気候地帯があり、そこに住む人々の生活、風習も多岐にわたっています。歴史的にはマヤ、アステカなどのすばらしい文化が栄え、植民地後もヨーロッパの影響を受けた古い街並みはとても美しいです。そんな様々な顔をもつメキシコを紹介します。

グアテマラ

照本 忠光さん
『グアテマラ
～異文化からのメッセージ』



中米に位置するグアテマラで日本人学校の校長をしていた経験から①グアテマラの治安②違っていてもおもしろい③学校が大好きな子どもたち④生きていたらなんでもできる⑤グアテマラから見た日本などについて紹介します。 【中学生・公民館向け】

アルゼンチン

大谷 アリシアさん
『タンゴとサッカーの国・アルゼンチン』



アルゼンチンは、日本から見るとちょうど地球の反対側にあたります。もっとも遠い国の一つですが日本との関わりは古く、日本人移民を温かく迎えてくれた国です。タンゴの名曲と豊かな自然にあふれたアルゼンチンを紹介します。

エクアドル

赤錆 千春さん (JICA 青年海外協力隊)
『エクアドルってどんな国？』



南アメリカ大陸にあるエクアドルの人々の暮らし、学校の様子などから日本と似ているところや違うところを探してみましょう。みんなの生きる世界にはいろんな文化、風習、人々の考え方があります。

【小学生向け】

エクアドル

赤錆 千春さん (JICA 青年海外協力隊)
『エクアドル～異文化からメッセージ』



i Ama La Vida! エクアドルの至る所に書いてあるこの言葉。意味は「人生を愛せ！」自分の人生を愛し、大切にすること、私たち日本人はできているでしょうか？エクアドルの文化、風習、人々の生活を知り、私たち日本人、日本について考えてみましょう。

【中高生・公民館向け】

その他

財団職員
『多文化共生出前講座』



様々な文化背景を持つ人々が、お互いを尊重といます。単独でも他の講座と併せてでもご利用ください。詳しくは裏面をご確認ください。